

☆☆☆ 大阪でんきレター ☆☆☆



今月のトピック

- ◆ 社長のひとり言
- ◆ シマシマニシマッシマ?
- ◆ スタッフ紹介



社長のひとり言

私達が未来を築くために

八月十三日と八月一六日の墓参り。我が家では家族全員が集まってお墓参りに行く習慣があります。私が生まれた時からそうだったように、今も自然なこととして行っています。

ご存知かと思いますが、お盆は仏教行事のひとつで、本来は旧暦の七月十五日を中心に行われていたものです。現在では新暦で七月に行ったり、一か月遅れで行ったり地域によって差があると見聞きしています。

皆さんの過ごし方はいかがでしょうか？ 様々な環境の方がおられるとは思いますが、せつかくのお盆休み、くしくも終戦の日もお盆期間中です。先祖を想い、今を想い、未来につなぐことを一年に一度考えてみる良い機会ではないかと思えます。

地域の納涼祭や、夏祭りといった行事もその地域に根付いた習慣から行われていることがほとんどです。地域にあるお寺も、神社も、お地藏様にもすべて意味があるのです。なぜその行事をやっているのか、なぜお寺や神社があるのか、考えたことはあるでしょうか？ 私は恥ずかしながらありません…。その存在理由や開催理由を知っている先輩方の話を聞いたことはあるでしょうか？ 残念ながらありません…。こういったことは私の住んでいる地域だけではないのでしょうか？

「過去」や「歴史」を知ることなくして「今」を想い「未来」を築くことはできないような気がしません。私達一人ひとりがそれを知っていけないと、「地域」でのつながりはなくなります。なんとなく生きるようになります。「未来」を残すために何ができるでしょうか？

事業活動もしかり、長くお付き合いをしているお得意先との「歴史」を知らずして「今」の取引そして「未来」の取引はあり得ないのです。何を大事にして活動していくか？ 今、私達は問われているような気がしてなりません。堅苦しい、暑苦しいひとり言になりましたが、一年に一回(?)くらい許していただければと思います。



としたろう
山本 利太郎

シマシマニシマッシマ?

自分の出身地を好きですか？ 私は石川県出身ですが、高校生の時にどうしても石川県から出たくて、大学は大阪の大学へ行きました(行かせて頂きました。お父さん、お母さん感謝してます。)しかし、どうしても都会に馴染めず、就職するなら絶対に石川県にもどりたい思い現在に至ります。(大阪電機グループのアキラ電機(金沢)で勤務してます)

北陸新幹線が開通して、よくテレビでも石川県を取り上げられているのを見るとうれしく思います。「秘密のケンミンSHOW」というテレビ番組では、石川県出身のタレントがあまり出演しないので石川出身タレントもっと頑張れ!、柴田理恵(富山県出身)に遅れをとるな!なんて思いながらみてたりします。

私も県外の人達からすれば、バリバリの金沢弁スピーカーなんだろうが、親世代や、そのまた上の祖父母世代の人達と話をするときは金沢弁ネイティブスピーカーには程遠いと思わされます。

「ネジネージ」



「ネガネーガンネーガ」



「シマシマニシマッシマ」



すんなり耳に入ってきたら 立派な石川県人です。(笑)

(富山県ではこの3つの方言は通じないのでしょうか・・・?)



原良



「新 頑張りまし 金沢ことば」

監修：加藤和夫

発行所：北国新聞社

スタッフ紹介



やしき まさたか
屋敷 昌孝

生年月日:H4年6月26日

年齢:26歳

血液型:A型

趣味:映画鑑賞

将来の夢:完成されずに家の隅に眠っているジグソーパズルを完成させる。

入社4年目の屋敷と申します。今年の夏は特に暑い日が続きました。社内のクーラーが聞いた場所にはかりいたので、外との温度差でずっとクラクラしてました。

さて、いきなりですが、今年の夏にディズニーピクサー最新作「リメンバーミー」がDVDレンタル開始されました。 キャッチコピーは「それは時を超えて-家族をつなぐ、奇跡の歌」。音楽を禁止された靴屋に生まれた主人公ミゲルがメキシコで年に一度の「死者の日」(お盆のような日)に、ご先祖様に音楽をしてもいいと許しをもらうために死者の国を冒険する話です。

子供から大人まで誰が見ても心温まる作品だと思います。時期的にもぴったりなので、夏の終わりに家族そろって見てみてはいかがですか？

大阪でんきレターは“月刊”です。あなたのアドバイス、ご意見を下記アドレスにいただくと励みになります。

大阪電機商事(株) 高岡支店

富山県高岡市問屋町5番地

TEL:0766-23-3111 FAX:0766-25-1790

furumura@osakadenki.co.jp (古村 孝志)

